

学校だより



令和8年度を迎えて

校長 西牧 桂

御入学、御進級おめでとうございます。新入生81名（普通科61名、職能開発科20名）を迎え、総勢220名（普通科161名、職能開発科59名）でスタートいたします。令和8年度が、新入生をはじめ、生徒、保護者の皆様におかれましても、健康で実り多い一年となりますよう祈念申し上げます。着任2年目を迎えました都立練馬特別支援学校長の西牧桂と申します。本校の教育活動が、昨年度よりもさらに充実したものとなるよう取り組んでまいります。どうぞよろしく願いいたします。本校の校訓について、御紹介いたします。

<校訓>

- 礼節 正しい言葉遣いを心がけ、優しい笑顔や言葉で挨拶をすること
- 信頼 周りの人と仲良く協力し合い、感謝の気持ちをもつこと
- 知識 きまりやルールを守って学習に取り組み、様々な知識と態度を身に付けること
- 心体 清潔で健康的な生活を心がけ、健やかな心と体を育むこと

この校訓には、よりよい学校生活を送るための心得に加えて、卒業後の自立と社会参加に向けてとても大切な意味が込められています。各教室にこの校訓が掲げられていますので、生徒の皆さんは、日頃からこの校訓を励行していきましょう。

令和8年3月18日（水）第14回都立練馬特別支援学校卒業証書授与式が行われました。卒業生67名全員に卒業証書を一人一人に手渡し、卒業生は社会へはばたいていきました。学校生活最後の教育活動を展開する練馬特別支援学校が、果たす役割や責任の重さを、ひしひしと痛感いたしました。令和8年度も、一人一人がそれぞれ歩む道は異なりますが、全員の進路希望を実現するとともに、練馬特別支援学校での学習の積み上げが、卒業後も地域社会の営みの中で、さらなる深い学びにつながるよう指導・支援をしてまいります。

今年度、本校は15年目を迎えました。令和6年度に開設した職能開発科は、3年目の今年度で全学年がそろい、初めての卒業生を輩出する年度となります。普通科・職能開発科とともに、インターシップや現場実習で指摘された課題等については、学校と家庭が連携し課題解決に努めるとともに、生徒本人の成長を後押ししてまいります。卒業後3年間は定着支援を行います。今年度も、卒業後のアフターケアに力を入れてまいります。

高等部時代は、自分らしさを磨き上げていく時期です。ときにはうまくいかず壁に直面することもあると思います。困難、ストレス、危機的な状況に直面した際に、折れることなくしなやかに適応し、回復する力（精神回復力・復元力）である「レジリエンス」を高めていく必要性を感じます。教職員一同、生徒の皆さんを全力で応援してまいります。保護者の皆様をはじめ、地域や関係機関の方々とは、生徒一人一人を見守り、生徒が成長を遂げられるよう指導・支援してまいります。今年度も、お力添えをよろしく願いいたします。

願（ねが）い込め 理想（りそう）の学び ます前へ